

第273回 京都歩こう会コース案内

リーダー 山田 吉澄

日時:2019年4月5日(金)

集合:JR嵯峨野線・亀岡駅 10時受付終了

コース:丹波亀山城下町ウォーク ☆

距離: 6.1km

行程:JR亀岡駅前 ⇒ 丹波亀山城跡(大本植物園) ⇒ 与一堂 ⇒ 鍛山神社(昼食) ⇒
 丹山酒造 ⇒ JR亀山駅(解散)

0.8
1.6
1.1

1.7
0.9

(単位:km)

【見どころ】

● 丹波亀山城跡：

光秀が1577年ごろに築城した丹波亀山城は、1610年 岡部長盛の時代に城郭・城下町がほぼ完備された。明治維新のあと、廃城令により解体されたが、現在の所有者である宗教法人大本の手により石垣などが修復された。

大本花明山植物園：昭和26年に開園、日本の野生植物 約1000種が植えられている。(入場無料・入口要受付)

● 鍛山神社 (くわやまじんじゃ)：

和銅2年(709)年創建と伝えられる。鍛山宮、八幡宮二棟の本殿(京都府登録文化財)を有し、大己貴命(大国主命)、誉田別命(応神天皇)を祀る。神代の昔、丹波の国亀岡は大蛇の住む丹色の泥海であったが、大己貴命は、八柱の神を黒柄山に召され、水を治する方法を相談討議されて、一葉の船を浮かべ大神自らが、一把の鍬を挙げ保津請田あたりを疎通されたところ水が抜き出て、沃土が出現し、家郷が開けたことによりこの神を尊び鍛山大明神と称え祀られた。寛生3(1462)年の棟札を現存し、現在の社殿は、権現造りで文化11(1814)年に再建されたものです。この地の景観の良さは、矢田八景として歌にも詠まれ、亀岡一の紅葉の名所です。

● 丹山酒造 (たんざんしゅぞう)：

京都の西北、嵐山の上流に位置し、酒造りは、米作り、米作りは土壌から、の基本を守り、自社栽培による有機、無農薬に取り組んでいる。

★田舎の小さな酒造の味を賞味下さい。
 お薦めは お米と米麴だけで造った昔ながらのあまざけです。



丹波亀山城跡堀



鍛山神社(登録文化財)



丹山酒造

【次回第274回ご案内】

日時:2019年4月26日 (第4金曜)

コース:武田尾廃線跡ハイク 距離:7 km

集合:JR福知山・生瀬駅 午前10時

【次回下見会のご案内】

日時:2019年4月12日 (第2金曜)

コース:ロマン溢れる南山城を歩く 距離:8.0 km

集合:JR奈良線・棚倉駅 午前10時